



なご市議会だより

Nago City Assembly Newsletter



名護市轟の滝広場

新年のごあいさつ



名護市議会 議長
大城 秀樹

市民の皆様、夢と希望の中、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。昨年中は、皆様の温かいご支援及び議会運営に対してご理解いただき、名護市議会を代表いたしました、衷心より厚く感謝を申し上げます。

昨年の名護市議会選挙後の初議会におきまして第16代議長に就任しました大城秀樹であります。私たち議員一同、名護市が抱える諸問題に対して、真摯に取り組み、6万3000人余の市民の皆様のために、「一生命頑張っていくことを念頭にお誓い申し上げたいと存じます。さて、平成30年を振り返りますと、激動という文字で表現することができま

す。2月に渡具知市長が誕生し、ごみ袋料金の減額、子どもの医療費、保育費、給食費の3大無償化を実施するなど、市民負担の軽減に向けてスピード感を持って取り組んでおります。

また久志地区では金融・IT関連企業向けインテリジェントビル「みらい5号館」が完成し、経済金融活性化特区制度の活用とともに、さらなる企業集積が図られております。羽地地区では堆肥センターが本格的に稼働し、品質の良い堆肥により農業生産力の向上へとつながることが期待されます。

本年は、名護市民の多くが待ち望んでいる名護市宮球場や県産鶏肉の安定供給を図ることを目的としたHACCP対応の食鳥処理施設が完成に向けて着々と進んでおります。また北部基幹病院の早期実現等、その他様々な市民の生活に直結した課題の解決が急務となっております。議会としてしっかりと市民の声を拾い上げながら慎重審議を尽くし、市当局へ提言を行ってまいります。

今後も名護市議会は、市民意見交換会や陳情審査等を積極的に行うとともに、議会改革を力強く推し進め、議会の見える化が図られるよう努力を重ねてまいります。

また市民生活の課題解決に向け、市政のチェック機関としての役割を果たしながら、市勢の発展のために、是々非々の立場で、車の両輪のごとく、これからも精進していく所存でございますので、本年もご指導ご鞭撻のほど、どうぞよろしくお願ひ申し上げます。

結びに、2019年は、目まぐるしく時代が動いた「平成」が終わり、新元号へと変わる節目の年となります。新しい時代の幕開けとともに、市民並びに沖縄県民にとりまして、心機一転ますますの充実したすばらしい年になることを願ひいたしますとともに、皆様のご健勝とご多幸を祈念申し上げ、新年のご挨拶といたします。

平成三十一年 元旦





謹賀新年

新年明けましておめでとうございます。市民の皆様方には、輝かしい新春をお迎えのこととお喜び申し上げます。

昨年は、2月に市長選挙、9月に市議会議員選挙が行われ、新市長並びに新しく26名の名護市議会議員が選出された選挙の年でありました。本委員会としても気持ちを新たに、これまで以上に市民の皆様の負託に応え、市民福祉の向上、市政発展を念頭に全力を傾注してまいります。

本年は、これまで多くの市民が悩み続けたごみ分別の簡素化が期待される「名護市新焼却施設」が建設に向かい動き出します。新施設には、リサイクルセンターを併設し、施設見学や環境学習など、ごみの適正処理、資源化について学べる施設となっております。今後も環境に十分配慮し、事故なく安全かつ確実に建設工事を進めていただきたく、本委員会としても、その進捗を注視してまいります。

総務財政委員会は、財政の健全性の確保と市民サービスの向上が図られるよう市の財政をはじめ一般会計の決算を審査し、良好な市政運営ができるよう市行政と両輪となり、ともに尽力する所存でありますので、ご指導ご鞭撻をお願いいたします。

本年が市民の皆様にとって良い年でありますよう祈念申し上げ、新年のごあいさついたします。

総務財政常任委員会

委員長 比嘉勝彦

副委員長 長山正邦

委員 島袋力

委員 吉居俊平

委員 仲村善幸

委員 宮城安秀

委員 岸本直也

委員 大城秀樹

委員 神山正樹





恭賀新年

市民の皆様には健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本市では昨年九月から市立学校給食費と保育料の無償化が実施され、今年四月からは一八歳までの医療費無償化も開始されます。財源や対象範囲を巡る議論はあるものの、国においても今年十月から幼児教育・保育の無償化が計画されています。今後「保育の質」を高める施策の充実、放課後児童健全育成事業の推進、学校教育環境の整備・充実など、諸課題の解決にも邁進しなければなりません。

また、昨年四月から国民健康保険制度の財政運営主体が沖縄県に移行、広域化が開始されました。地域の活力維持と医療費抑制の課題解決のためにも「健康寿命」を伸ばして「地域包括支援システム」の充実を図っていく必要があります。北部地域の安心・安全な医療を守るための「北部基幹病院」設立も加速していかなければなりません。

このように、今日の少子高齢化社会の中で、医療・介護・年金問題や子ども・子育て支援、教育の課題は山積し、迅速かつ丁寧な対応が求められています。私たち民生教育常任委員会一同は、昨年九月の改選に伴う第十四期のスタートにあたり、心機一転、市民福祉向上のため、なお一層の研さんに努める所存でございます。

結びに、市民の皆様のご活躍とますますのご健勝を祈念申し上げます。新年のあいさつとさせていただきます。

民生教育常任委員会

委員長 川野 純 治

副委員長 宮城 さゆり

委員 大城 敬 人

委員 平 光 男

委員 翁 長 久美子

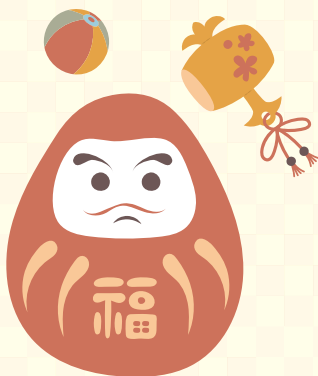
委員 比 嘉 拓 也

委員 比 嘉 忍

委員 金 城 善 英

委員 岸 本 洋 平

笑門来福





謹んで新春のお慶びを 申し上げます

市民の皆様におかれましては平成三十一年、新春の輝かしい朝をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年、「名護市轟の滝広場」が完成いたしました。県指定記念物「名勝」に指定されている滝やすばらしい一枚岩などが存分に眺められ、ほかにもイベント広場をはじめ、レクリエーション広場、水に親しみ、自然景観を楽しむ広場、自然体験学習広場などがあり、様々な面で楽しく憩える公園となっております。これまで以上に市民にとって安らぎの場所となることを期待しているところで

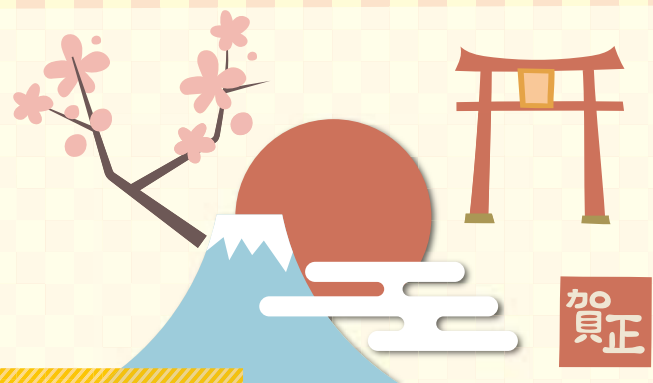
また、名護市堆肥センターが供用開始され、本格的に軌道に乗ってまいりました。生産された「畑（はる）もの」がたり」等の堆肥は品質が良く、大人気であると聞いております。課題である安定供給に取り組みながら、さらなる農業生産力の向上へとつながることを期待し、今後も議会として推進してまいります。

本市の喫緊の課題であり、また多くの市民が待ち望んでいる新名護市営球場が今年完成の予定となっております。本委員会としても所管事務調査として調査・研究を行い、適宜提言を行ってきたところであり、今後も委員会として新球場に期待し、市民及び日本ハムファイターズの活躍を支援する施設となるよう、その完成まで見守っていく所存であります。

経済建設常任委員会は、皆様のご意見を真摯に受け止め、市民生活の向上のために、市行政と両輪となって邁進する所存ですので、本年も皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。結びに、市民の皆様のご健康とご繁栄を祈念申し上げ新年のごあいさつとさせていただきます。

経済建設常任委員会

- 委員長 宮里 尚
- 副委員長 石嶺 康政
- 委員 大浜 幸秀
- 委員 仲尾 ちあき
- 委員 金城 隆
- 委員 東恩納 琢磨
- 委員 小濱 守男
- 委員 比嘉 祐一



No. 119

なご市議会だより 広報広聴委員会広報部会

議会報編集委員

長山 正邦 / 大浜 幸秀 / 吉居 俊平

平成31年
1月1日発行

●発行/名護市議会
●印刷/株式会社 沖産業 〒905-0017 沖縄県名護市大中2-1-1 TEL.0980-53-7221